



Press Release

第 5 回 連続講座

公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団
〒530-8341 大阪市北区芝田二丁目 4-24
TEL 06-6375-3202 FAX 06-6375-3229

『いのち』を考える 開催

J R 西日本あんしん社会財団では、平成 24 年度より、死や悲嘆・グリーフケアはもとより、多様な観点から「いのち」に焦点を当て、ともに考える連続講座を開催しているところ。

平成 26 年度は、年 3 回(春、秋、冬)、各 6 週連続で開催することとし、より多くの方々に受講していただける機会を増やします。

なお、5 月より、第 5 回目となる連続講座「『いのち』を考える」～あなたにとって「いのち」とは～を下記のとおり開催することといたしましたのでお知らせいたします。

1. 日 時 平成 26 年 5 月 16 日から平成 26 年 6 月 20 日の**毎週金曜日** 18:30～20:00 (計 6 回)
2. 会 場 毎日新聞ビルオーバルホール (毎日新聞ビル地下 1 階)

3. 講 師 (敬称略)

①	5/16	山田 邦男	大阪府立大学名誉教授
②	5/23	小達 一雄	(財) 夏目雅子ひまわり基金理事長
③	5/30	柏木 哲夫	金城学院学院長、淀川キリスト教病院理事長
④	6/ 6	玉木 幸則	西宮市社会福祉協議会 障害者総合相談支援センターにしのみや センター長
⑤	6/13	清水 康之	特定非営利活動法人 自殺対策支援センターライフリンク代表
⑥	6/20	小山 明子	女優、エッセイスト

4. 主催等

主催：公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団
協力：西日本旅客鉄道株式会社

5. 定 員

480 名 (参加無料・要事前申込み)

6. お申込み方法

- ・ホームページ (<http://www.jrw-relief-f.or.jp/>) からお申込みください。
- ・6 週連続して出席いただける方を対象とします。
- ・締切日：平成 26 年 4 月 11 日 (金)
- ・お申込み多数の場合は抽選の上、結果をメールでお知らせします。
- ・受講には、受講証が必要です。(4 月 30 日頃発送予定)
- ・お申込みでいただいた個人情報、当講座の運営及び財団からのお知らせ以外の目的には使用しません。
※上記によるお申込みが出来ない場合は、ハガキに「連続講座受講希望」と明記の上、氏名(要フリガナ)、郵便番号、住所、電話番号を記載し、下記の宛先へお送りください。結果は受講証の発送をもって代えさせていただきます。(ハガキ 1 枚につき 1 名様のお申込みとさせていただきます。)

〒530-8341 大阪市北区芝田二丁目 4 番 24 号
公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団

7. その他

- ・都合により急遽講演内容等を変更する場合があります。
- ・当日の取材はお断りさせていただきます。
- ・講座の内容は、ホームページ (<http://www.jrw-relief-f.or.jp/>) でもご覧いただけます。

第5回連続講座『いのち』を考える 講師プロフィール

日程	講師（敬称略）	プロフィール
5/16 (金)	山田 邦男（やまだ くにお） 大阪府立大学名誉教授	大阪府立大学総合科学部教授を経て、現在、同大学名誉教授。人間形成論、哲学的人間学専攻。著書に「生きる意味への問いーV・E・フランクルをめぐって」「フランクルとの＜対話＞」など多数。訳書に「それでも人生にイエスと言う」他。
5/23 (金)	小達 一雄（おだて かずお） （財）夏目雅子ひまわり基金理事長	ノートルダム大学（米国）経済学部卒業。日本ビジネススクールロサンゼルス校事務局長。帰国後、ヘキサ・プロセス株式会社設立、夏目雅子ひまわり基金設立。厚生省高齢者対策諮問在宅ホスピス啓発委員、健康医科学トレーナーズ協会設立 理事などを務める。現在、厚生労働省厚生科学審議会疾病対策審議会審議委員、財団法人日本骨髄バンク評議員、学校法人滋慶学園東京フィルムセンター映画・俳優専門学校学校長、学校法人滋慶学園東京アニメ・声優専門学校学校長、財団法人夏目雅子ひまわり基金理事長。
5/30 (金)	柏木 哲夫（かしわざい てつお） 金城学院学院長 淀川キリスト教病院理事長	大阪大学医学部卒業。ワシントン大学留学。淀川キリスト教病院で日本最初のホスピスプログラムをスタート。現在病院理事長。大阪大学人間科学部教授を経て金城学院大学学長。現在学院長。日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団理事長、J R 西日本あんしん社会財団理事。著書に「使命を生きているということー真のホスピス緩和とケアとがん哲学者外来からのメッセージ」他多数
6/ 6 (金)	玉木 幸則（たまき ゆきのり） 西宮市社会福祉協議会 障害者相談支援センターにしのみやセンター長	1968 年姫路市に仮死状態で生まれる。4歳で肢体不自由児療育施設に入所、障害者としての洗礼を浴びる。小中学校は、地元の普通学級で学ぶも、高等学校だけ泣く泣く養護学校へ。1991年日本福祉大学社会福祉学部第Ⅱ部卒業後、知的障害者通所授産施設に勤務。1992年自立生活センター・メインストリーム協会事務局次長に就任以後、障害者の自立生活運動に取組む。現在は、社会福祉法人 西宮市社会福祉協議会 障害者総合相談支援センター にしのみやセンター長。西宮市地域自立支援協議会 会長など。Eテレ 毎週金曜日 21:00～21:29 障害者情報バラエティ「バリバラ」レギュラー出演中。著書に「生まれてきてよかったーてんでバラバラ半生記ー」など。
6/13 (金)	清水 康之（しみず やすひき） 特定非営利活動法人 自殺対策支援センターライフリンク代表	元NHK報道ディレクター。自死遺児たちの取材をきっかけに、自殺対策の重要性を認識。2004年にNHKを退職し、ライフリンクを設立。10万人署名運動等を通して2006年の「自殺対策基本法」成立に大きく貢献する。自殺対策の「つなぎ役」として日々全国を奔走中。鳩山・菅政権においては、内閣府参与（自殺対策担当）を務めた。著書に『自殺実態白書2013』（ライフリンク編）、共著に『自殺社会から「生き心地の良い社会」へ』など。
6/20 (金)	小山 明子（こやま あきこ） 女優、エッセイスト	大谷学園在学中、学園のファッションショーに出演した際『家庭よみうり』のカバーガールとなり、松竹にスカウトされ入社し映画「ママ横を向いてて」で女優デビュー。その後、映画や舞台、テレビで活躍。最愛の夫（映画監督、大島渚）が病で倒れてからは女優業を控え介護に専念。介護をテーマに講演会、コメンテーター、執筆活動。2001年には、小山明子事務所を設立、現在に至る。「パパはマイナス50点」で第25回日本文芸大賞エッセイ賞受賞。著書に「女として、女優として」、「小山明子のしあわせ日和～大島渚と歩んだ五十年～」など。